

地域医療研修レポート

今回の新城市民病院での研修でやらせていただいたことは初診外来の間診、入院患者の管理、作手診療所での初診、訪問看護、訪問リハビリ、介護老人保健施設サマリアの丘見学、EBM勉強会、up to date勉強会でした。

初診外来は救急外来ではスルーされがちな詳細な病歴聴取や身体診察、詳しい検査を行い、確定診断をしてフォローアップしていく場だということに気づかされました。また、マンツーマンでオーベンの先生に指導していただき、毎日症例を振り返ることで自分ができたことやできなかったことがわかり課題を見つけることができました。

作手診療所では手書きのカルテやオーダーに戸惑いましたが、CTやMRIがない状態での診察や身体所見の大切さ、患者さんを満足させることに重点を置いたへき地の診療所の役割を学ぶことができました。

訪問看護、訪問リハビリでは摘便や清拭、リハビリを見学したりやらせてもらったりしました。病院へ通うのが困難な人たちにとって訪問看護、訪問リハビリは必要で、特にへき地では需要がものすごく高いことがわかりました。

介護老人保健施設サマリアの丘では1階がデイケア、2階と3階が介護老人保健施設になっており、見学させていただきました。施設にはカラオケやレクリエーションがあり、楽しみながら老後を過ごせる工夫がされていました。こちらの施設も高齢化が進むへき地では需要がすごく高く、また待機している人たちがとても多いことを教わりました。

EBM勉強会では名郷先生にお越しいただき、オンラインでEBMに基づいた論文の議論に参加させていただきました。エビデンスに従った医療の重要性、論文に書いてあることだけを読むのではなく、自分なりに評価して自分だったらこの薬を使うかどうかまで考えることまで必要だと思いました。

Up to date勉強会は自分も発表させてもらい、また他の先生の発表も興味深いものばかりでとても勉強になりました。このUp to dateの存在は知らなかったのも、これから利用していこうと思います。

全体的には予想していたよりも多くのことを学べていい経験ができました。新城市民病院のスタッフはみんな優しく丁寧に教えてくれ、すごくいい環境で仕事ことができました。

また、今回は名古屋第一日赤からも研修に来ていて、普段同期の研修医がいない僕にとってはとても刺激になり、いろいろ教えてもらいました。

2週間という短い間でしたが、新城市民病院の皆さま本当にお世話になりました。ありがとうございました。